

2009年3月30日

公募型産学共同研究制度「旭硝子リサーチコラボレーション制度」
第5回プログラム研究テーマ決定

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社・本社：東京、社長：石村和彦）は、2004年より自社のニーズやシーズに基づいた公募方式により、大学あるいは公的研究機関等と共同研究を行う制度（旭硝子リサーチコラボレーション制度）を導入しています。2008年も第5回目として、環境、ガラス、フッ素化学関連の14課題で公募を行った結果、13件の応募の中から「環境関連の基礎技術の開発」に関する共同研究テーマとして2件を選定しました。さらに共同研究テーマに漏れた案件の中から研究支援テーマとして4件を選定しました。

1. 共同研究テーマ

(1) 北海道大学 大学院工学研究科 准教授 広吉 直樹

北海道立工業試験場 研究主査 稲野 浩行

「ガラスの組成変性技術開発」

(2) 産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 グループ長 堀 久男

「熱水反応を用いる機能性フッ素ポリマーの分解システムの開発」

これらの共同研究テーマに対しては、当社が研究材料と年間約2,000万円の研究費を最長3年間支給します。

2. 研究支援

共同研究テーマに漏れた応募案件の中から、別途研究支援テーマを選定しました。研究支援の内容と応募者の所属組織は、次の通りです。

・研究資金の支給（奨学寄附金として1件50～100万円。別途研究材料を提供する場合があります。）

産業技術総合研究所、大阪市立大学

・研究材料の提供

九州大学、大阪大学

当社は、共同研究により得られた成果を社内で積極的に活用し、継続的に新事業・新商品を創出します。今後も産学連携による価値創造を幅広く推進するために、2009年度も引き続き本制度を実施します。

以上

<ご参考>・2008年度旭硝子リサーチコラボレーション制度の募集要項は以下URLをご参照下さい。

http://www.agc.co.jp/collaboration/index_2007.html

・2009年度の募集要項は本年5月以降に公表の予定です。

◎メディア関連のお問い合わせ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕

(担当：若杉 TEL:03-3218-5259 Email:info-pr@agc.co.jp)

◎研究機関からのお問い合わせ先：旭硝子(株)技術企画室 佐藤 誠

(TEL:03-3218-5395 Email:asahi-collaboration@agc.co.jp)